

書籍出版のお知らせ

TOPICS

2017年10月25日

2017年11月1日に、当社代表取締役社長 若林直樹が書籍を出版いたします。

タイトル『井戸を掘る 命をつなぐ ～創業明治45年のさく井工事会社、100年の軌跡～』

当社は今年、創業106年目を迎えました。

本書には、創業から現在に至るまでの歴史や、積み上げてきた実績とそれに伴う技術力が詰まっています。

さく井業界の「ナンバーワン企業」としての役割を果たすため、この業界の奥行きや、それに関わる人々の生きざまを、多くの人に知っていただけたら幸いです。

ぜひ、お手に取ってご覧ください。

紹介内容

**水汲みのために学校をあきらめる子どもがいる！
その子のために今日も我々は井戸を掘る。
日本、そして世界の大地に井戸を掘り続けた男たちの100年物語。**

●日本の生活は世界の非常識

日本には「湯水のように使う」という言葉がある。昔からこの国では水やお湯は、「無尽蔵にある」、「いくらでも使える」ものの象徴だった。今では全国津々浦々に上下水道網が完備し、「蛇口をひねれば水が出る」ことが当たり前の生活に慣れて、ますます水のありがた味を私たちは忘れたかもしれない。

だが、こんな生活はひとたび世界に目を向けたならば、実は21世紀の今も例外なのだということに気づかされる。

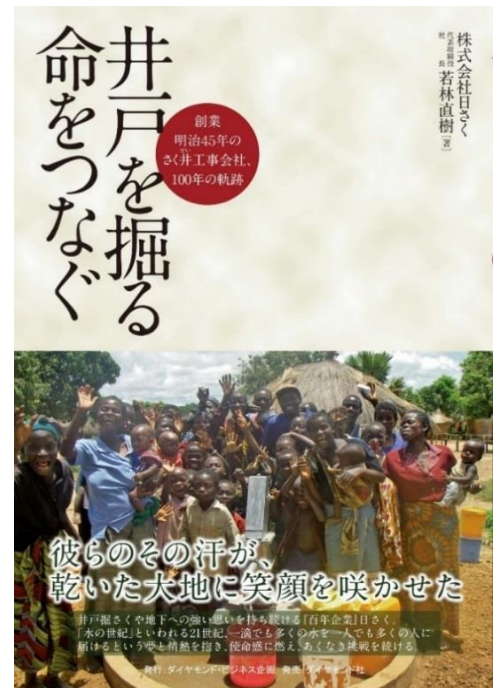
今日も世界中のどこかで、何kmも離れた水源から何時間もかけて、水汲みを強いられる子どもたちの姿が見られるはずだ。そのために、学校に通うことをあきらめた子どもがいる。水がなければ彼らも家族も生きてはいけないのだから。

●彼らは砂漠のヒーローだった

実は水はすぐそこにあるのだ。彼らの立っている足下には水は眠っている。だが、彼らには手が届かない。

一滴でも多くの水を、一人でも多くの人へ——。日さくはその乾いた大地に穴を掘る。そこからは宝の水が湧きいずる。そのたびごとに村人たちは歓喜し、乾いた大地に笑顔の花が咲き薫る。人々にとって日さくは、まぎれもなくヒーローだった。

私たちはさく井（井戸掘り）のことをよく知らない。しかし本書を手にとった時、その奥深さに感動し、高度な技術力に驚くだろう。こんな日本企業があることに誇りを持つだろう。そして私たちの置かれた環境に初めて感謝するに違いない。



- ◆株式会社日さく 代表取締役社長 若林直樹／著
- ◆発行：ダイヤモンド・ビジネス企画
- ◆発売：ダイヤモンド社
- ◆発行日：2017年11月1日
- ◆ISBN 978-4-478-08424-3
- ◆1,500円（税別）

- ・ [amazon](#)からの購入はこちら
- ・ [楽天ブックス](#)からの購入はこちら
- ・ 全国書店でもお買い求めいただけます